

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111C011		国語(小)(書写を含む。) (Japanese Language (elementary school))							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	1	教育学部 ≪令和2年度以降入学生用≫	前期	金4	日本語		複数(共同)						
担当教員	氏名 安道百合子・樋口将一・小川幸代・貝ヶ石叔子 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535													
授業の概要	小学校における書写の授業を担当するために必要な知識と技能を、小学校各学年の書写の指導場面を意識しながら、実践を通して身に付ける。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	手書き文字と活字の違い、筆記具の特性について理解する。							○						
目標2	小学校書写の授業に必要な知識を理解している。							○						
目標3	小学校書写の授業に必要な技能を習得し、活用できる。							○						
目標4	生涯にわたって書に親しむ態度を育てることができる。									○				
目標5	子どもへの指導を念頭にレポート等を作成することができる。							○	○					
目標6	学校の国語文化の向上を念頭にレポート等を作成することができる。										○			
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								6	2	1	1			
授業の内容														
1	オリエンテーション、国語教育における書写指導について													
2	書写の基礎・姿勢と筆記具の持ち方													
3	点画の組み立てに関する知識													
4	漢字・仮名の特徴に関する知識と指導													
5	筆順と字形に関する知識と指導													
6	筆圧と運筆の速さに関する知識と指導													
7	文字の配列に関する知識と指導													
8	筆記具の特徴と活用に関する知識と指導・水書き													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	毎回、書写(毛筆)の実技指導を含みます				工 夫 の 他 の							
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造	○												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	小学校教科書や学習指導要領解説などを読んで予習する(11h)												
	事後学修	実践の反復。授業で扱った内容に関連することを、小学校の教科書・学習指導要領等で確認、復習する(12h)												
	想定時間合計	23												
教科書	光村図書・小学校教科書『書写』1～6年〈令和7年度版〉(ISBN9784813800569)													
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領 解説 国語編』〈平成29年告示〉東洋館出版社 2018年 (ISBN9784491034621)													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業参加・相互批評・小レポート		30%	○	○	○	○	○	○				
	作品提出		70%	○	○	○	○						
注意事項	初回に授業についての基本的な説明をするので、受講者は必ず出席すること												
備考	特になし												
リンク													
	URL												